

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議 開催報告書

開催日時	令和5年2月21日	風楽里アルコープにて
当日あつまって頂いた委員の皆様		議 題
利用者	2人	1 活動状況報告 スライドショー 2 身体的拘束適正化検討委員会 3 小規模多機能型居宅介護「笑楽日」 認知症対応型共同生活介護「風楽里」 外部評価
利用者家族（風楽里）	1人	
〃（笑楽日）	1人	
知見者	1人	
市職員	1人	
地域包括支援センター	1人	
看護学生+教師	4人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	2人	

①12月～2月の活動状況をご報告させて頂きました。

コロナの状況を鑑みながら少しずつ外へ出る機会を持てるようになりました。

(質疑応答)

包括中央東・・・洋服屋さんレクとはどのようなものか？

→ご利用者のご家族や、地域の方など各方面より衣類を寄付頂く事が多く、そういったものをハンガーにかけ、まるで洋服屋さんのように展示してバザーのようにお好きな物を選んで配布するレクリエーションです。買物をしている感覚で、皆さん喜ばれています。

看護学生・・・バリデーションとはどのようなものか？

→認知症の方と職員数名でレクリエーションや歌などを交えながら、お一人お一人に役割を振って、1つのテーマについて話し合いを行います。テーマについての意見をじっくり伺うことでその方の価値観だったり、普段聞く事の出来ない思いなどに触れることができ、ご利用者様をより理解する事で、今後もケアに生かしていくための手法です。

②身体的拘束適正化委員会

内玄関の外側に厨房がある為、人の出入りが多く、利用者様がその中で外へ出られても分からない時がある。センサーも設置はしてあるが、重ねてドアに鈴をつけ、戸が動くと音が鳴るようにした。その結果、音が鳴ると玄関を見るようになり、人の往来が確認できるようになった。

知見者様・・・ICTとはどういったものですか？人型のロボットとか？

市役所・・・大きな施設ではナースコールなどでタブレットを使って職員同士がやり取りし、一番近くにいるスタッフが駆け付けられるようにしていたり、市内ではまだ聞かないが、他市では介護ロボットが普及しているところもあると聞きます。

事務局・・・他施設ではどのようにされているのかご意見伺いたい。

地域包括・・・うちはケアハウスの為、自動ドアになっており、自由に出入りができるようになっ

ている。

市役所・・・他のところでもセンサーや、鈴など音のなるもので対応されている。特に特養などの大きな施設では見守りカメラやICTなどを活用されているところもある様です。施錠の部分は身体拘束としては判断が難しいところではあるが、その方の自由や人権、思いを阻害する行為が身体拘束にあたるものなので、ケアの方法や対応の仕方ですら工夫するとともに、安全面での配慮や、スタッフ、利用者様の状況を見て検討して頂ければと思います。

事務局・・・夜間はどのようなのでしょうか？

利用者家族・・・一般家庭での生活音がするのは当たり前で、日常生活の中でどこの家庭でも自宅の施錠はするのに、施設では身体拘束と捉えられてしまうのはどうしてかなと思う。防犯上当り前なのでは？

市役所・・・防犯上、普段している最低限の施錠に対しては必要なものと思います。

事務局・・・帰りたい、出ていきたいと思われる方は玄関には限らずどこからでも出ていける可能性がある。センサーなどに頼りきりにならず、ご本人の心身の状況を観察し、そのような気持ちをそらせるような対応や、前兆をできるだけ早く察知しご本人のお気持ちに添った支援をすることが大切だと考えています。

③「笑楽日」「風楽里」外部評価

事務局・・・(笑楽日外部評価について)

スタッフ自己評価は経験年数も様々なスタッフがいる中で多岐にわたる設問の為、設問の意味自体が理解できず答えられないスタッフもいた。スタッフ自己評価を実施し、ご利用者様の現在の心身の状況に変化には迅速に対応できているが、今までの生活からその方を知るところまでにはなかなか至っていない方が多かった。また、介護保険制度や、地域資源、成年後見制度に関してはよく理解できていない方も多く、今後も勉強会など実施する必要があると感じました。

(風楽里外部評価について)

委員の方から、設問が画一的なため、受け止め方や、就労日数、時間によって全員ができています。と答えるには無理があるとご意見いただきました。答え方の矛盾点も加味して深く読み込んでいただき、感謝するとともに、集計する立場でも同じように、ストレスを感じることもありました。来年度に向けての新しい目標を見つけることができたので、それなりの意義はあると思います。委員の方の時間と労力をおかけして本当に申し訳なく思います。

市役所・・・外部評価は日々業務が忙しい中ではあるが、一度立ち止まって日々の業務やケア等を見直し情報共有していくことで介護の質を向上し、今後の運営に生かしていくことを目的としています。お忙しいなかとは思いますがご協力の程よろしくお願ひ致します。

地域住民の代表・・・皆さんが頑張ってみえるのがよくわかりました。

利用者家族・・・様々な職種の方がいるので仕事での関り方や、とらえ方にも個人差があると思うので出ている数字の数が全てを表しているとは思いません。

スライドにて、日々の様子や季節行事等を見ていただきました。

以上 令和4年度第6回運営推進会議の報告とさせていただきます。

報告者 伊丹